

平成30年度 木花中学校自己評価書

学校の教育目標「豊かな心をもち 進んで学習に取り組み 健康で明るい生徒の育成」

合言葉 ～「凡事徹底」＋（プラス）あたりまえのことをあたりまえにやり続ける それに加えて 生徒自身がなりたい自分になるための努力事項～

評価基準 A～十分に達成している（90%以上） B～おおむね達成している（70～89%） C～達成がやや不十分（50～69%） D～達成が不十分（49%以下）

評価項目	評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定	結果の考察・分析及び改善策等
学力向上対策の推進 「本物の力をつける 学力向上」	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わかるまで できるまで」粘り強く進んで取り組む生徒・教師</li> <li>基礎・基本および活用する力の育成、進路実現できる学力の保証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全教師が研究授業年1回以上実施</li> <li>進路希望達成100%</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>基礎基本と活用する力両方を意識した授業、テスト作成</li> <li>家庭学習の充実を図るための校内テスト範囲表の工夫</li> <li>主題研究を踏まえ、個人の課題に応じた授業改善シートの作成</li> <li>キャリア教育の充実と進路希望達成</li> <li>特別な支援を必要とする生徒の共通理解、実践を図る場、研修の設定</li> </ol>	B	<p>○生徒からの授業評価などを利用して授業の課題を明らかにすることで焦点を絞った授業改善を行うことができた。</p> <p>○基礎基本と活用する力を意識した取組は見られるようになったが、学習内容の定着は十分でない。</p> <p>○特別な支援を必要とする生徒の共通理解を図る場、研修の設定、日常的な情報交換もできている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●補充学習の必要な生徒に対する指導の時間の確保が必要である。</li> <li>●授業に取り組むことも困難な支援の必要な生徒が多い。</li> <li>●学習への意欲は十分とはいえない。特に保護者のアンケートではあまり学習していないと回答している割合は41%であった。自主的な家庭学習が十分とはいえないので今後、授業や学級での指導により、家庭学習の充実を図る必要がある。</li> <li>●保護者のアンケートによると自分の子どもがよく本を読んでいるといく項目に対して肯定的な意見が40%であった。読書活動アシスタントや生徒の委員会活動と連携して推進し、それを学力向上に繋げたい。</li> </ul>
生徒指導の充実 「一人も集団も伸びる生徒指導の推進」	<ul style="list-style-type: none"> <li>凡事徹底</li> <li>いじめゼロ、正義が通る集団づくり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校生徒の登校日数が前年度以上</li> <li>地域ボランティア活動への生徒の参加60%</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>いじめ防止基本方針に則り、温かで正義が通る集団づくり いじめの早期発見・早期解決に努め、家庭、地域、関係機関と連携</li> <li>基本的な生活習慣の確立と自治的な活動の充実</li> <li>道徳の授業及び体験活動の充実</li> <li>地域ボランティア活動への積極的な参加</li> </ol>	B	<p>○毎月、生徒へのアンケートを取りながらいじめの早期発見・早期解消に取り組む、前年度より丁寧に行えた。</p> <p>○不登校の割合が4%で改善傾向にある生徒もいる。状況に応じて家庭、地域、関係機関とケース会議を行った。 今後も家庭訪問や専門機関との連携を図りながら不登校0を目指していきたい。</p> <p>○保護者によると、学校は子どもの悩みを理解し誠実な対応を行っているかとの問いに肯定的なもの71%、否定的なもの17%であった。また、いじめを許さない生徒を大切にしたい学級づくりについては肯定的なもの75%、否定的なもの8%であった。</p> <p>○地域の祭りやボランティアに積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●道徳の研修が十分でない。</li> <li>●連携が難しい家庭へのアプローチの仕方を考えていく必要がある。</li> </ul>
保健・安全教育の充実 「進んで自己や他者の健康や安全を守る保健・安全教育の充実」	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力の向上</li> <li>健康教育の充実</li> <li>災害や事故から身を守る知識・技能・心の教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体力テスト個人目標達成80%以上</li> <li>全教師1回防災教育の手引きを活用した授業を行う。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>健康教育の充実</li> <li>市防災教育の手引きを活用した授業展開、避難訓練の工夫改善と進んで事故や災害から命を守ろうとする積極的な防災教育</li> </ol>	B	<p>○体力テストの結果から目標を設定し、体力向上に取り組んでいる。</p> <p>○学校保健委員会の講演や弁当の日の実施を通して食育を推進できた。</p> <p>○市の防災訓練も実施し、学校が防災の拠点となっており、地域との連携は図れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●自他の健康、安全について自己教育力を育てたい。</li> </ul>
家庭地域との双方向での連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>双方向での情報交換</li> <li>家庭、地域の教育力向上への支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観日やPTA活動への参加70%以上</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>学校便り、その他通信などの定期発行と内容の充実</li> <li>参観日やPTA活動への参加推進</li> <li>地域との交流活動の充実</li> </ol>	B	<p>○学校便り、その他通信は計画的に発行している。小学校との通信の交換も有意義である。</p> <p>○保護者アンケートによると学校が情報をきちんと伝えているという肯定的なものが86%、伝えていないというものが11%であった。開かれた学校づくりについては肯定的なもの78%、否定的なもの6%、また、学校の誠意ある対応については肯定的なもの82%、否定的なもの8%で、学校の情報や対応について、保護者は比較的満足しており、今後も更に継続していく。</p> <p>○PTAは協力的である。</p> <p>○伝統芸能や地域行事へ生徒が積極的に参加している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学力向上に対する保護者の意識も向上させるよう啓発が必要である。</li> </ul>